



<教育目標>

あたたかい心 ゆたかな知性 たくましい身体

高き希望に（第五中学校だより）

平成30年11月30日発行

No.10 校長 矢口 仁

違いを認め合う心 一人権週間を前に 校長 矢口 仁

他人の物指し 自分のものさし
それぞれ寸法が ちがうんだな 相田みつを



クリスマスローズ

明日から12月です。1年の締めくくりとして、充実した月にしていきましょう。12月10日が「世界人権デー」ですので、今回は「人権」をテーマとします。

1948年12月10日、国連総会で『世界人権宣言』が採択され、2年後にその日が「世界人権デー」と定められました。日本では、12月4日～10日が「人権週間」です。

本年度の重点目標に『みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～』とあります。

また、オリンピック憲章には、「人の権利及び自由は、人種、肌の色、性別、性的志向、言語、宗教・政治的又はその他の意見（中略）によるいかなる差別も受けることなく、確実に享受されなくてはならない。」という言葉があります。

先日、漫画家 田亀源五郎さんのインタビュー記事を読みました。第19回文化庁メディア芸術祭漫画部門で優秀賞を受賞した「弟の夫」の原作者です。漫画の設定は「父 弥一と娘 夏菜の二人暮らしの家に、マイクと名乗る男がカナダからやってくる。マイクは、実は弥一の双子の弟の結婚相手だった。そこから、三人の不思議な生活が始まっていく。」というものです。つまり、弥一の弟は、同性婚だったという設定です。

田亀さん自身、ゲイであることを高校時代にカミングアウトし、今はLGBTに関する情報を様々なメディアで発信しています。次のような言葉が目にとまりました。

「LGBTというと、権利問題や社会問題としての側面がクローズアップされがちで、『正しさ』みたいなものに引っ張られる気がします。私はそれよりも『誠実さ』を大事にすることがよいのではないかと思うのです。正しく理解できるか、できないかは重要ではありません。『その人に誠実であるかどうか』『自分の態度が誠実であるかどうか』こそが大切なことだと思います。この気持ちを最優先すれば、差別や偏見で人を傷つけることを避けられるのではないのでしょうか。」

「違いを認め合う心」をもって誠実に人に接することで、人権は守られていきます。人権尊重の精神の基本は、「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めること」です。皆さんも、人権週間にあたり、「人権」について考えてみてください。